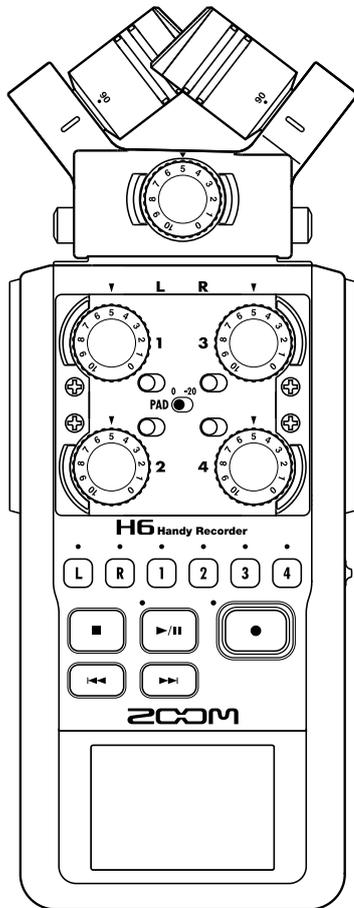


ZOOM®



H6 Handy Recorder

オペレーション マニュアル

© 2020 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を
無断で複製／転載することを禁じます。

はじめに

このたびは、ZOOM **H6**ハンディレコーダー（以下“**H6**”と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

H6は、次のような特長を備えた製品です。

●場面に応じて交換可能なステレオマイク

一眼レフカメラのレンズのように、場面に応じてマイクを取り替えることができます。

狙った音を奥行きのある音像で録音できる XY マイクの他にも、ステレオ幅の自由な調節が可能な MS マイクや、特定のポイントの音だけを集音するショットガンマイク、TRS/XLR コンボ端子アタッチメントも用意されています。

●最大 6トラックの同時録音

交換可能なステレオマイク（L/R 入力）の他に、本体に 4 つの TRS/XLR 入力（インプット 1～4）を装備。

環境音とナレーション、全体音響と複数の役者の音声など、一度に最大 6 トラックまでの録音が可能です。

●進化した録音性能

- ・ XY マイクは、新開発の 14.6 mm の大口径ダイヤフラムを搭載。低音から高音まで分離の良いステレオ録音が可能です。
- ・ L/R 入力では、通常の録音と同時に -12 dB の録音レベルで別ファイルにバックアップ録音が可能。想定外の高音で通常録音が歪んだ場合も差し替えることができます。

- ・ インプット 1～4 は従来より最大ゲインが増加、さらに [PAD] スイッチによって、要望の多かった +4 dB の入力にも対応しています。ファンタム電源 (+12 V/+24 V/+48 V) も用意されています。
- ・ すべてのインプットボリューム（入力ゲイン）は回転ボリュームにより手動で素早く調節できます。

●充実した基本性能

- ・ 記録メディアは SDXC カードに対応。従来よりさらに長時間の録音が可能です。
- ・ ディスプレイはカラー LCD で、一眼レフにマウントしても見やすい位置に配置されています。
- ・ 出力端子は、通常のヘッドフォン出力に加え、ラインアウトも搭載。ビデオカメラ等に音声信号を送りながらのモニターも可能です。
- ・ USB 接続ではカードリーダーとして、また従来の 2IN/2OUT に加え、6IN/2OUT (Windows はドライバが必要) のオーディオインターフェースとしても利用可能です。
- ・ チューナーやメトロノーム、再生速度・ピッチの変更など、従来の H シリーズに搭載されていた便利な機能も、もちろん搭載。リモコン（有線）も使用できます。

H6の機能を十分に理解し、未永くご愛用頂くために、このマニュアルをよく読んでください。

また、一通り読み終わった後も、このマニュアルは保証書とともに保管してください。

本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

© Windows[®] は、Microsoft[®] 社の商標または登録商標です。

© Macintosh、Mac、iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

© SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは商標です。

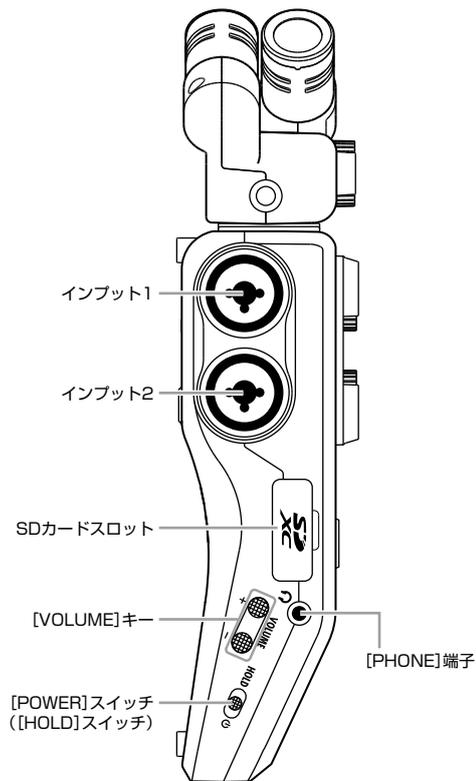
©文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

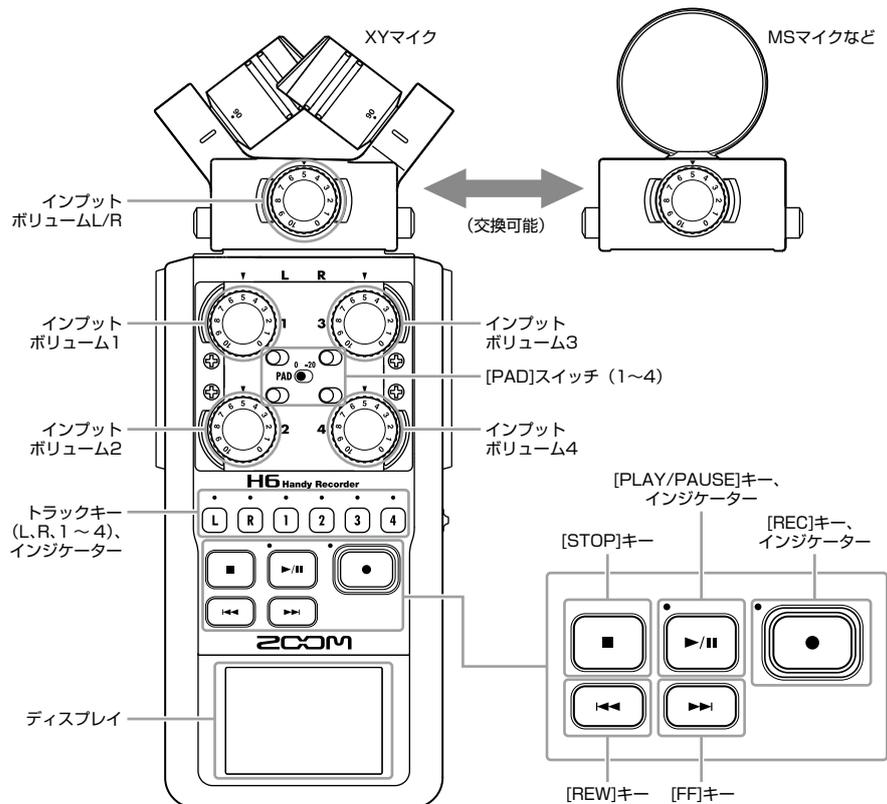
他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

各部の名称

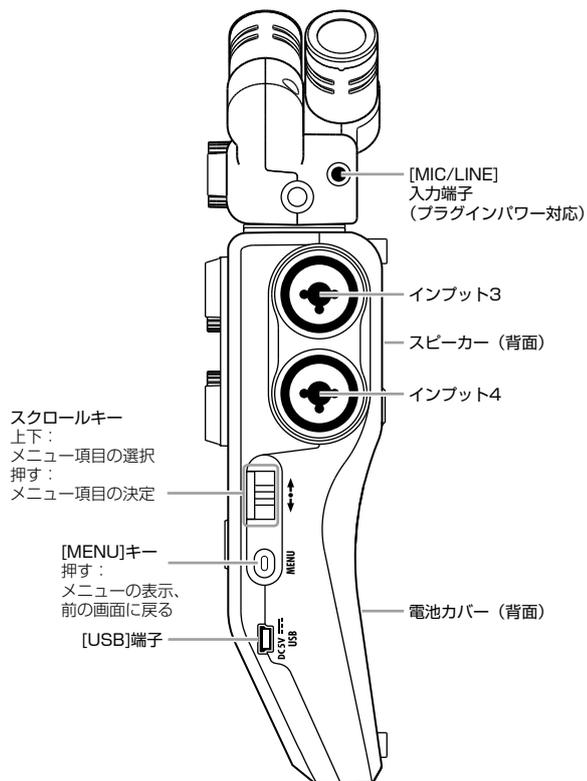
【左側面】



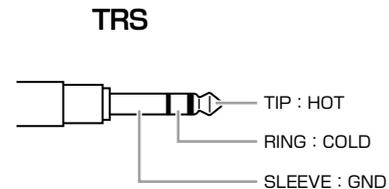
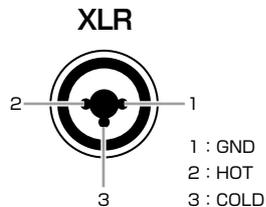
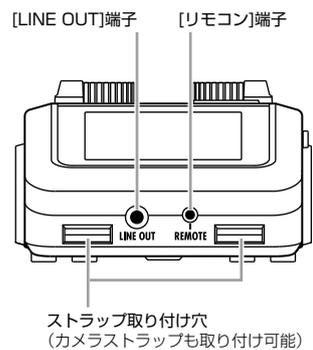
【前面】



【右側面／背面】



【底面】

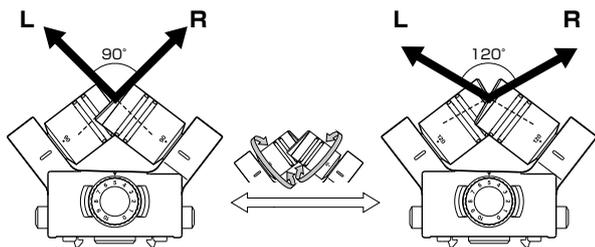


マイクについて

H6のマイクは目的に応じて付け替えることができます。
マイクからの入力 (L/R 入力) は、トラック L/R へ録音されます。

XY マイク

指向性マイクを交差させて配置したマイクです。
マイクを回転させることにより集音角度を 90°、120° に切り替えることができます。



特長：

新開発の大口径ダイヤフラムの搭載により、センターの音をしっかりとらえつつ、低域から高域まで左右の分離の良い録音ができます。

自然な奥行きと広がりをもった立体的なサウンドで、特定の音源を狙った近～中距離の録音に最適です。

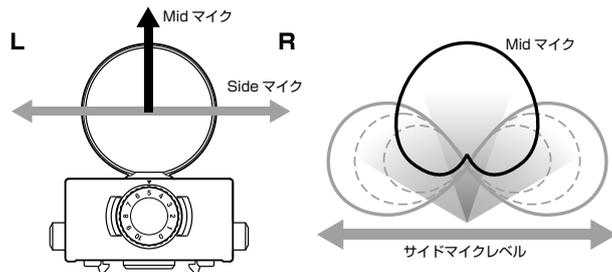
例：ソロ演奏、室内楽、ライブリハーサル、フィールドレコーディング

NOTE

XY マイクには、外部マイクやライン機器を接続できる [MIC/LINE] 入力端子が用意されています。プラグインパワー対応のマイクに電源を供給することもできます。(→ P.88)

MS マイク

センターの音を拾う単一指向性の Mid マイクと、左右の音を拾う双指向性の Side マイクを組み合わせたマイクです。
Side マイクのレベル (サイドマイクレベル) を調節することで、ステレオ幅を自在に変えることができます。MS-RAW モードで録音すれば、録音後にサイドマイクレベルを調節することもできます。



特長：

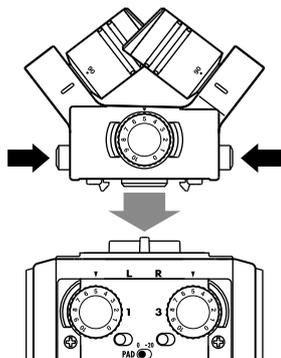
左右の広がり豊かなステレオイメージを捉えることができ、音源が複数ある、広く開放的な空間での録音に最適です。

例：オーケストラ、ライブコンサート、サウンドスケープ、Side マイクをオフにすれば、インタビューやナレーション、会議などに適したモノラル録音を行うこともできます。

マイクの取り付け／取り外し

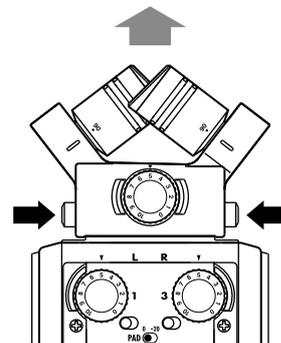
マイクの取り付け

- 1. H6** 本体とマイクに取り付けられている保護キャップを外す
- 2.** マイクの横にあるボタンを押しながら本体に取り付け、奥まで押し込む



マイクを取り外し

- 1.** マイクの横にあるボタンを押しながら本体から引き抜く



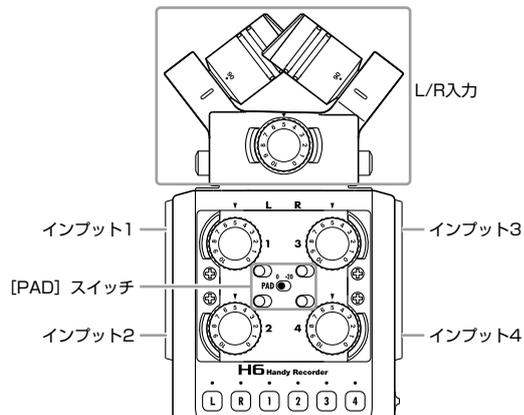
NOTE

- ・取り外すときは無理な力を加えないでください。マイクおよび本体が破損する恐れがあります。
- ・録音中にマイクを取り外すと、録音が終了します。
- ・マイクを長期間取り外す場合は、保護キャップを取り付けてください。

インプット 1～4 にマイクなどを接続する

H6 は、XY マイクや MS マイクからの入力 (L/R 入力) の他に、インプット 1～4 からの入力も備えており、合わせて一度に最大 6 トラックの録音が可能です。

インプット 1～4 にはマイクや楽器などを接続することができ、それぞれトラック 1～4 へ録音されます。



マイクの接続

ダイナミックマイク、コンデンサーマイクを接続する場合は、XLR プラグをインプット 1～4 に接続します。

コンデンサーマイクにはファンタム電源 (+12 V/+24 V/+48 V) を供給することもできます。(→ P.87)

楽器などの接続

キーボードやミキサーを接続する場合は、TRS プラグをインプット 1～4 に接続します。

パッシブタイプのギターやベースの入力には対応していません。この場合は、ミキサーやエフェクターを通して接続してください。

出力基準レベルが +4 dB のミキサーなどには、[PAD] スイッチを「-20」にすることで対応できます。

ステレオ入力

トラック 1/2、トラック 3/4 をステレオトラックに設定 (ステレオリンク) することにより、インプット 1/2、インプット 3/4 にステレオ入力することもできます。(→ P.22)

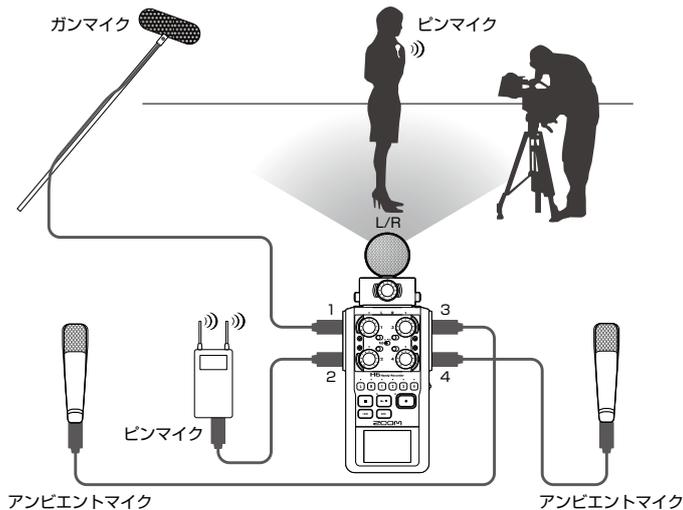
この場合、インプット 1 と 3 が Lch、インプット 2 と 4 が Rch になります。

接続の例

場面に応じて、例えば次のような録音が可能です。

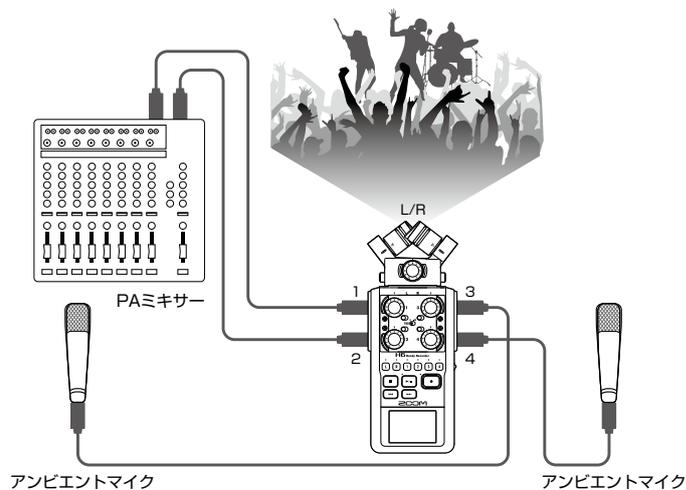
動画撮影の場合

- ・ L/R 入力のマイク…メインの対象の音声。
- ・ インプット 1、2 に接続されたガンマイクやピンマイク…出演者の音声。
- ・ インプット 3、4 に接続されたマイク…環境音。



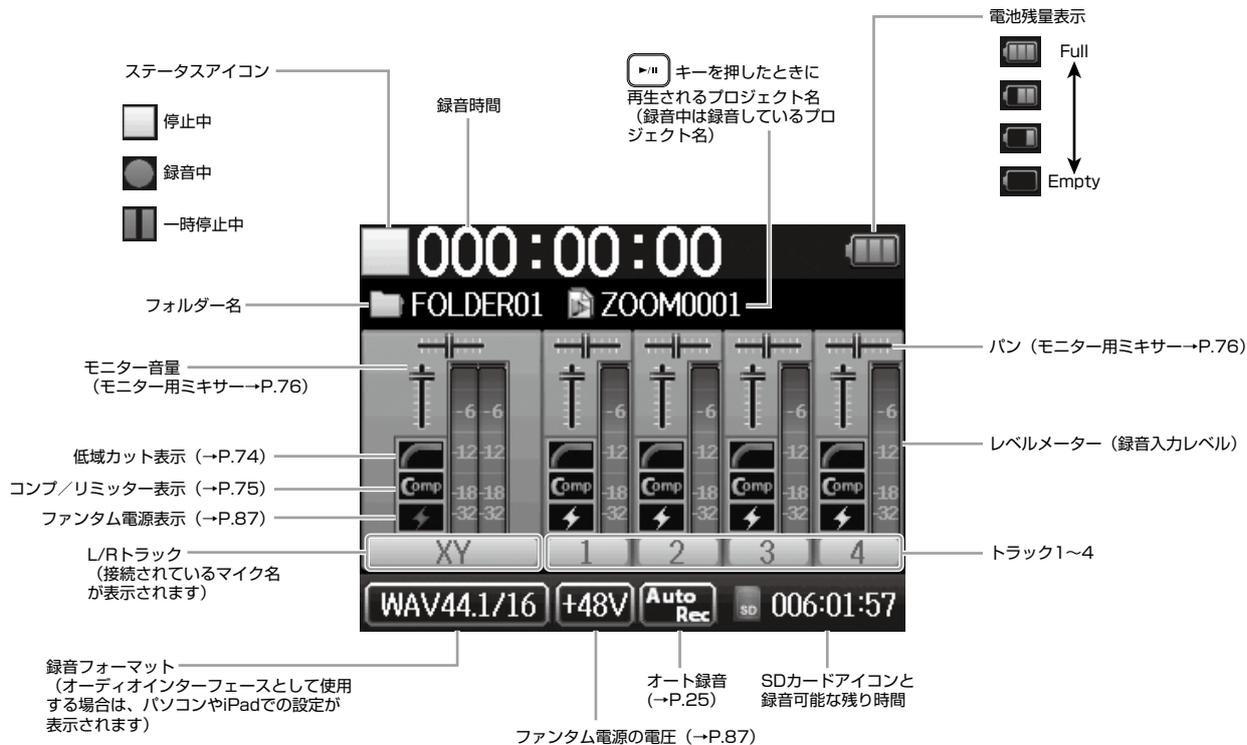
コンサート録音の場合

- ・ L/R 入力のマイク…ステージの演奏。
- ・ インプット 1、2…ミキサーからのライン出力。
- ・ インプット 3、4 に接続されたマイク…観客の音声。

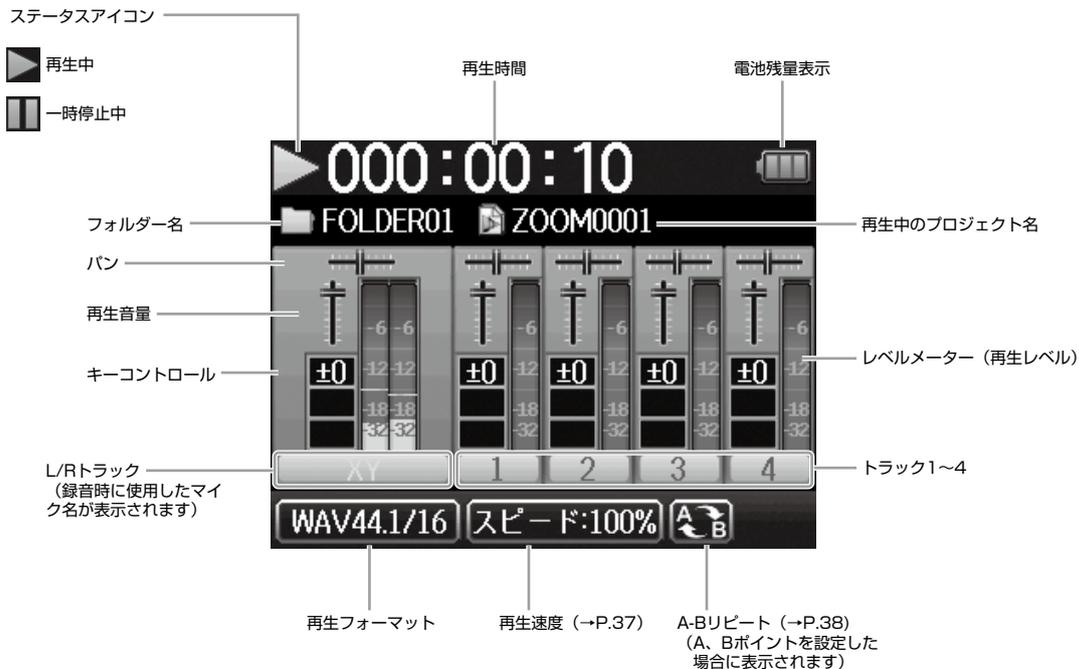


ディスプレイ表示

ホーム&録音画面



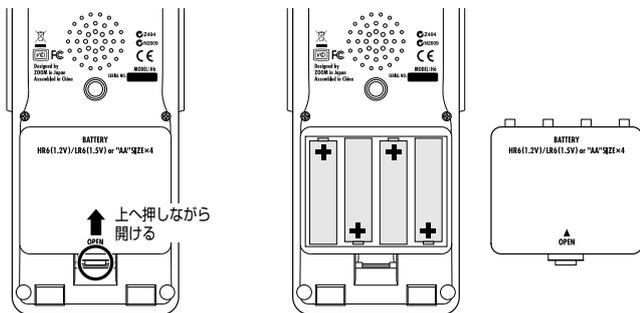
再生画面



電源のセット

電池を使用する

1. 電源を OFF にしてから、電池カバーを開ける



3. 電池カバーを閉じる

NOTE

- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素蓄電池を使ってください。
- ・電池マークが 0 になったときは、すぐに電源を OFF にし、新しい電池と交換してください。
- ・使用する電池の種類を選択する (→ P.19)

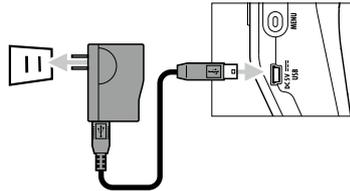


2. 電池を取り付ける

AC アダプターを使用する

1. USB 端子にケーブルを接続する

2. コンセントに接続する



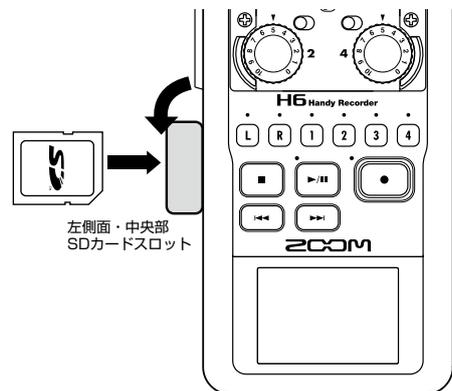
SDカードのセット

1. 電源を OFF にしてから、SD カードスロットカバーを開ける

2. カードスロットに差し込む

取り出したいとき：

SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜く



NOTE

- ・SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- 電源が ON のままで行うと、データを破損させる恐れがあります。
- ・SD カードを抜き差しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- ・SD カードが入っていないときは、録音や再生はできません。
- ・SD カードを初期化するには (→ P.95)

電源の ON/OFF

電源 ON

1. HOLD  を右にスライドする



NOTE

- ・ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、言語（→ P.17）と日付／時刻（→ P.18）の設定を行う必要があります。これらの項目は、後から設定し直すこともできます。
- ・「カードが挿入されていません。」と表示されたら、SD カードが正しくセットされているか確認してください。
- ・「カードが書き込み禁止です。」と表示されたら、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
- ・「不正なカードです。」と表示されたら、フォーマットが不正です。初期化するか、別のカードを使用してください。初期化するには（→ P.95）

電源 OFF

1. HOLD  を右にスライドする



NOTE

- ZOOM のロゴマークが表示されるまでスライドし続けてください。

NEXT >>>

電源の ON/OFF のつづき

ホールド機能について

録音中の誤操作を防ぐため、**H6** はボタン操作を無効にするホールド機能を搭載しています。

ホールドを有効にする

1. HOLD (🌐) を左にスライドする



NOTE

ホールド機能有効時でも、リモコンでの操作は可能です。

ホールドを解除する

1. HOLD (🌐) を中央に戻す

言語のセット★

ディスプレイに表示する言語を、英語または日本語から選択できます。

1.  を押す

2.  で「言語選択 (Lang.)」
(Language) を選択して、
 を押す



3.  で言語を選択して、
 を押す



★：ご購入後、初めて電源を ON にした場合は、言語と日付／時刻の設定を行う必要があります。

日付／時刻のセット★

日時を設定しておくことで、ファイルに録音日時を記録することができます。

1. を押す

2. で「システム設定」を選択して、を押す



3. で「日時設定」を選択して、を押す



4. 設定する



■ 設定時の操作

カーソル移動： の上下

変更する項目の選択： を押してから、の上下

変更した項目の確定： を押す

5. を押す

日時が設定されます。

★：ご購入後、初めて電源を ON にした場合は、言語と日付／時刻の設定を行う必要があります。

使用する電池の種類を選択する

電池残量を正確に表示するために、電池の種類を設定しておきます。

1.  を押す

2.  で「システム設定」を選択して、 を押す



3.  で「電池設定」を選択して、 を押す



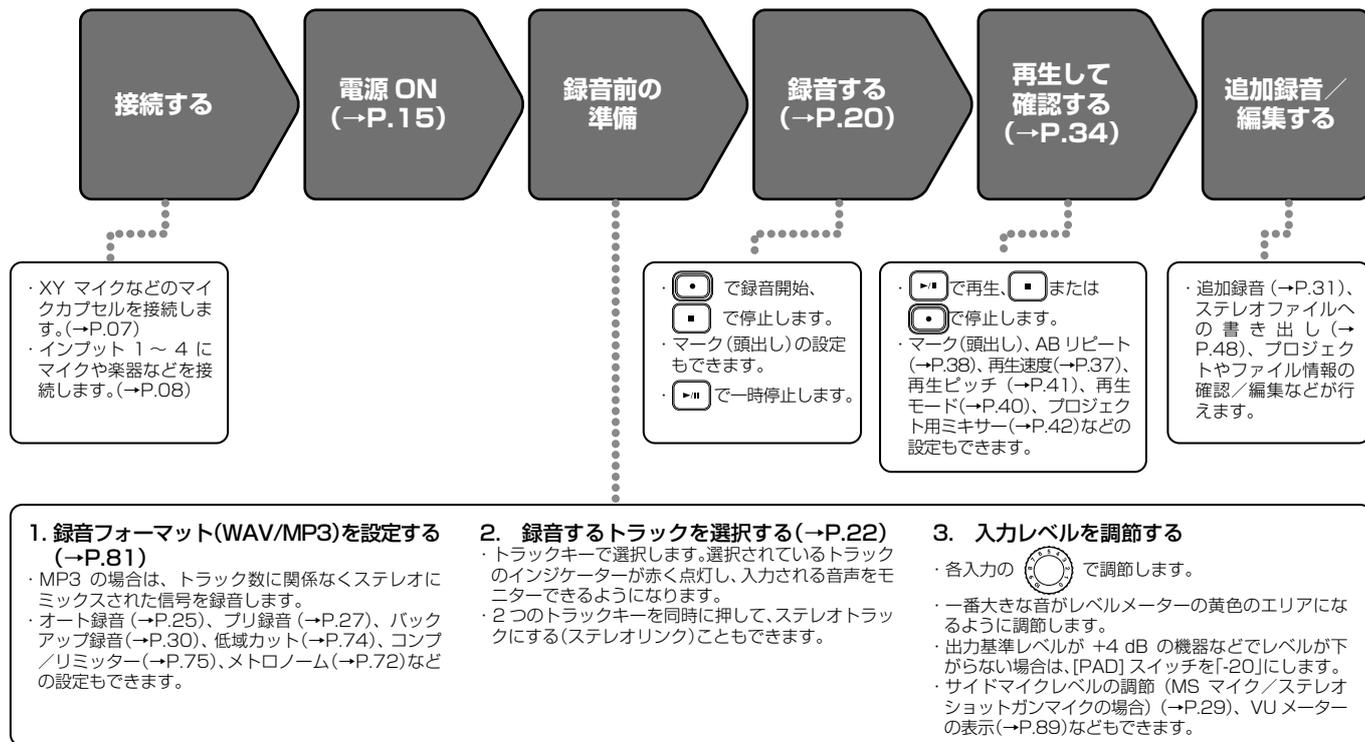
4.  で種類を選択して、 を押す



録音の流れ

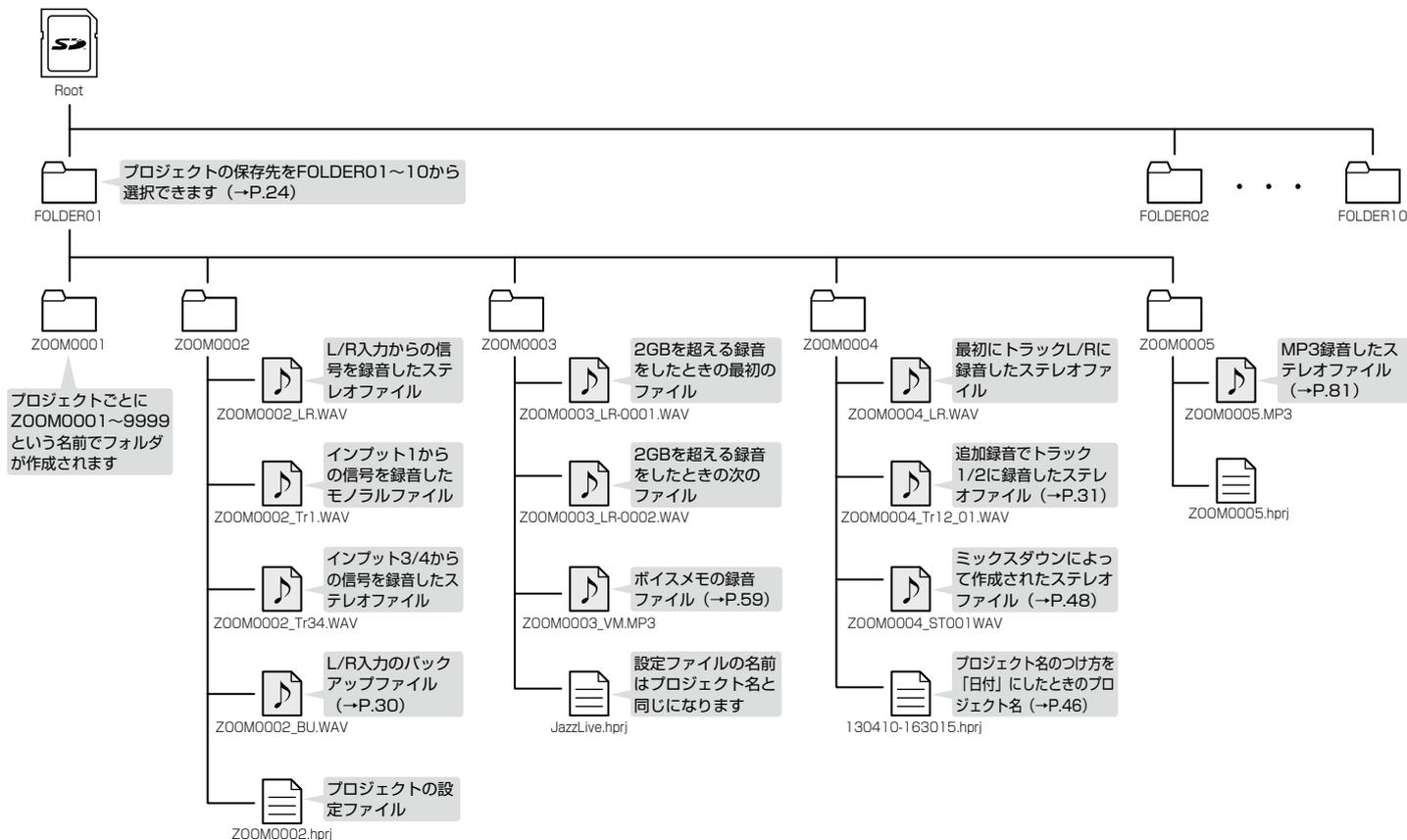
次のような流れで録音を行います。

H6 では、録音・再生するデータの単位をプロジェクトと呼びます。

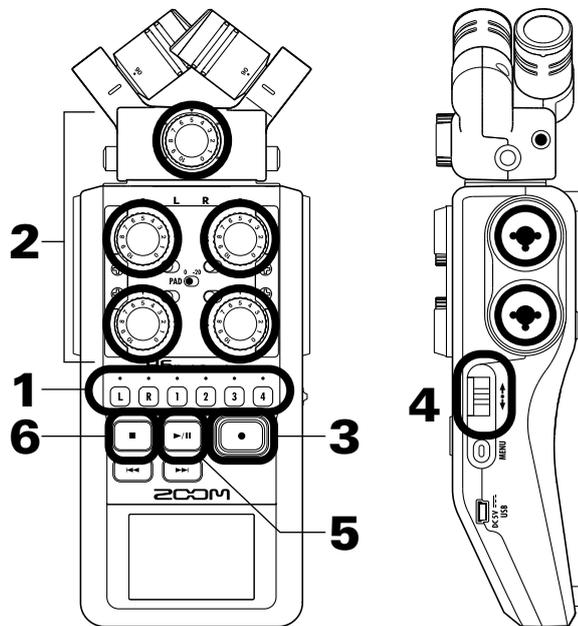


H6 のフォルダ・ファイル構成

H6 で録音すると、SD カードに次のようなフォルダ・ファイルが作成されます。



録音する



1. 録音したいトラックのトラックキーを押す

HINT

- ・ 選択されたトラックキーはインジケータが赤く点灯します。
- ・ トラックキーの 1 を押しながら 2 を押し、トラック 1/2 はステレオトラックになります (ステレオリンク)。トラック 3/4 も同じようにステレオトラックにすることができます。ステレオリンクは、設定と同じ操作で解除することができます。L/R トラックのステレオリンクを解除することはできません。

HINT

- ・ 録音すると選択されたトラックキーごとに次のようなファイルが作成されます。

録音したトラック	ファイル名	内容
L/R トラック	ZOOMnnnn-LR	ステレオファイル
モノラルトラック	ZOOMnnnn_Tr1 (トラック 1 の場合)	モノラルファイル
ステレオトラック	ZOOMnnnn_Tr34 (トラック 3/4 の場合)	ステレオファイル

※ファイル名の「nnnn」はプロジェクト番号

- ・ 1度の録音で作成されるこれらのファイルを、**H6** ではプロジェクトという単位で管理します。

2. 選択したトラックに対応する



を回して入力レベルを調節する



HINT

- ・ ピークレベルが -12 dB 付近で維持されるように調節します。
- ・ 録音フォーマットを変更したいときは (→ P.81)
- ・ 風雑音などのノイズをカットしながら録音するには (→ P.74)

3. を押す

録音が始まります。



4. マークをつけるには を押す

5. 一時停止するには を押す

NOTE

一時停止を行ったときは、停止位置にマークがつきます。

6. 停止するには を押す

NOTE

- ・マークは 1 プロジェクトに最大 99 個つけられます。
- ・録音中にファイルサイズが 2 GB を超えたときは、新しいファイルが同一プロジェクト内で自動的に作成され、録音は継続されます。このときファイル名の末尾に -0001（最初のファイル）、-0002（2 番目のファイル）のように番号が付加されます。

プロジェクトの保存先フォルダを選択する

録音したプロジェクトを保存するフォルダを 10 フォルダから選択します。

1.  を押す

2.  で「プロジェクト一覧」
を選択して、 を押す



3.  で保存したいフォルダ
を選択して、 を押す



4.  を押す

保存するフォルダが選択され、
ホーム画面に戻ります



自動で録音する

入力レベルに応じて、自動的に録音を開始／終了することができます。

1.  を押す

2.  で「録音設定」を選択して、 を押す



3.  で「オート録音」を選択して、 を押す



4.  で「オン/オフ」を選択して、 を押す



NEXT >>>

自動で録音するのつづき

5.  で「オン」を選択して、
 を押す

**NOTE**

自動録音機能の詳細を設定するには (→ P.82)

7. 待機状態から抜きたいとき
 や録音を中止したいときは
 を押す



6. ホーム画面に戻って、
 を押す

待機状態になります。

**HINT**

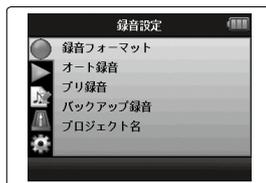
設定したレベル（レベルメーター上に表示されます）以上の入力があると、自動的に録音を開始します。設定したレベル以下の入力になると自動的に録音を終了する機能を使用することもできます。(→ P.83)

時間をさかのぼって録音する

入力信号を常に一定時間蓄えておくことにより、 を押す 2 秒前から、録音を開始することができます。突然演奏が始まったときなどに便利です。

1.  を押す

2.  で「録音設定」を選択して、 を押す



3.  で「プリ録音」を選択して、 を押す



4.  で「オン」を選択して、 を押す



NOTE

・自動録音機能やプリカウント機能との併用はできません。

録音開始前にカウントする

録音を開始する前にカウントを鳴らすことができます。

1. を押す

2. で「ツール」を選択して、を押す



3. で「メトロノーム」を選択して、を押す



4. で「プリカウント」を選択して、を押す



5. でカウント回数を選択して、を押す



NOTE

自動録音機能との併用はできません。

サイドマイクレベルを調節する MS マイク／ステレオショットガンマイクのみ

MS マイクを使用した録音前にサイドマイクレベル（ステレオ幅）を調節できます。
この操作はホーム画面で行います。

1. の上下

RAW モード

サイドマイクレベル： RAW

サイドマイクレベル： +6

サイドマイクレベル： 0

サイドマイクレベル： -12

サイドマイクレベル： オフ

広い

狭い

数値に応じて
グラフィックも変わります

NOTE

OFF、-24 ~ +6 dB、MS-RAW モードに設定できます。

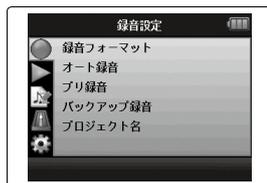
- ・MS-RAW モードで録音すると、再生中に  を上下に操作することによってサイドマイクレベルを調節することができます。
- ・MS-RAW モードは録音フォーマットが WAV のときのみ選択できません。

バックアップ録音する L/R入力のみ、WAVフォーマットのみ

L/R入力では、通常の録音に加えて、バックアップとして設定した入力レベルから 12 dB 低い録音レベルで別ファイルに録音することができます。録音レベルが高すぎて歪んでしまったときなどに、差し替えることができます。

1. を押す

2.   で「録音設定」を選択して、 を押す



3.   で「バックアップ録音」を選択して、 を押す



4.   で「オン」を選択して、 を押す



HINT

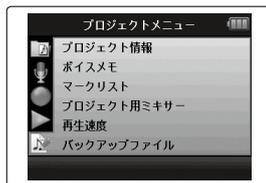
- ・バックアップファイルのファイル名は、例えば元のファイルが「ZOOM0001_LR.wav」の場合「ZOOM0001_BU.wav」になります。
- ・バックアップファイルを再生するには (→ P.60)

追加録音する WAV フォーマットのみ

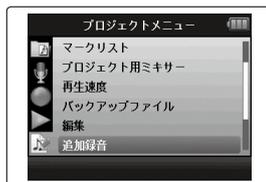
すでに録音済みのプロジェクトに対して、後から録音を追加することができます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「追加録音」を選択して、 を押す



4. 追加録音するトラックのインジケータが赤く点灯するまで、トラックキーを押す



5.  を回して入力レベルを調節する

HINT

必要に応じてミキサーの設定（音量、パン）や低域カット、コンプ/リミッターを設定することもできます。

 で追加録音するトラックの変更したいパラメーターを選択して、 を押します。さらに  でその内容を選択して、 を押します。

6. 録音済みのトラックを再生する場合はそのトラックキーを押して、インジケータを緑色に点灯させる

NEXT >>>

7. を押す

8. 停止するには を押す

HINT

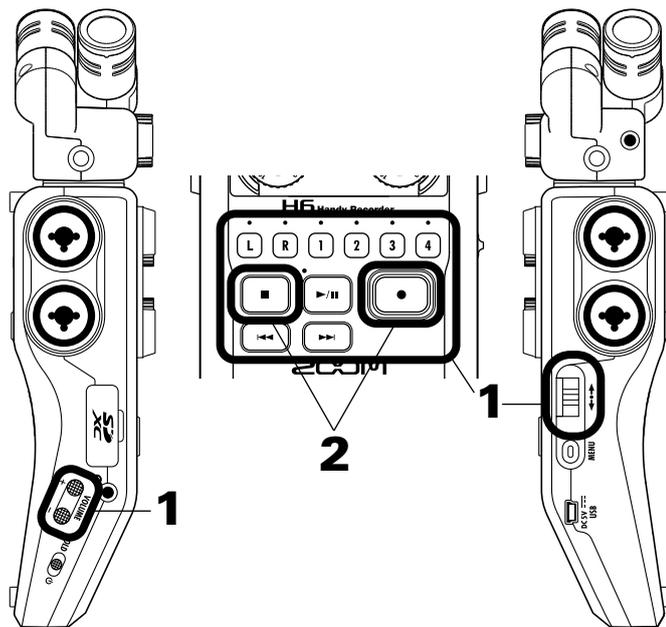
- ・追加録音中でもステレオリンクの設定を変更することができます。
- ・追加録音したファイルや音量、パンの設定、ステレオリンクの設定は「テイク」という単位で保存します。設定を変更し、複数のテイクを録音することもでき、その場面は停止中に  を押すことで前のテイクを、  を押すことで次のテイクを選択できます。テイクは 99 回まで録音できます。
- ・録音済みのトラックを再生しながら別のトラックの入力音をモニターしたい場合、モニターしたいトラックのトラックキーを押して、インジケータをオレンジ色に点灯させ、  を押してください。
- ・再生速度を 100%以外に設定しているプロジェクトではトラックのインジケータを赤くすることはできません。

9. 追加録音を終了するには を押す

追加録音したプロジェクトを再生したり編集する場合、終了時に選択されていたテイクが対象となります。

NOTE

- ・追加録音したファイルの名前は「ZOOM0001_LR_01.WAV」のように 2 桁のテイク番号がトラック名の後に付加されます。



1. を押す



■再生時の操作

再生プロジェクトの選択、マーク位置の頭出し：

  を押す

早送り／早戻し：

  を長押し

一時停止／再生再開：

 を押す

音量調節：

 の+、-を押す

マークをつける：

 を押す

サイドマイクレベルの変更：

 の上下

(MS-RAW モードのみ)

HINT

- ・   を長押しする時間が長いほど、早送り／早戻しのスピードも早くなります。
- ・ 再生中にトラックキーを押すと再生（緑点灯）、ミュート（消灯）を切り替えることができます。

2. ホーム画面に戻るには 

または  を押す



再生したいプロジェクトをリストから選択する

1.  を押す

2.  で「プロジェクト一覧」を選択して、 を押す



3.  でフォルダを選択して、 を押す



4.  で再生したいプロジェクトを選択して、 を押す

選択したプロジェクトが再生されます。



NOTE

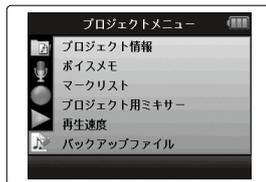
再生後は、再生モードの設定（→ P.40）に従って再生を続けます。

再生速度を変更する

1/2 倍 (50%) ~ 1.5 倍 (150%) の間で再生速度を変更できます。

1.  を押す

2.  「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「再生速度」を選択して、 を押す



4.  で再生速度を調節して、
 を押す



変更したスピードで再生されます。

NOTE

変更した値は、プロジェクト単位で保存されます。

任意の範囲を繰り返し再生する [A-B リピート]

設定した 2 点間を繰り返し再生できます。

1.  を押す

2.  で「再生設定」を選択して、 を押す



3.  で「AB リピート」を選択して、 を押す



4.  で A ポイントのアイコンを選択する



5.   でリピート再生の始点の位置を探す
 を押して、再生しながら探すこともできます

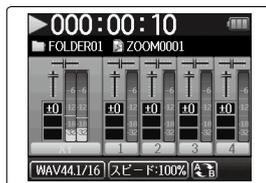


6.  で B ポイントのアイコンを選択して、リピート再生の終点も設定する



7. を押す

再生画面が表示され、設定範囲のリピート再生が始まります。



NOTE

- ・繰り返し再生中に   で他のプロジェクトを選択すると A-B リピートは解除されます。

再生モードを変更する

再生方法を変更できます。

1.  を押す

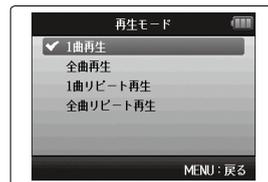
2.  で「再生設定」を選択して、 を押す



3.  で「再生モード」を選択して、 を押す



4.  で再生モードを選択して、 を押す



NOTE

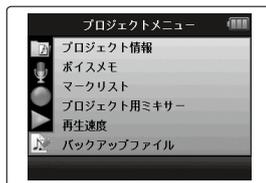
- 全曲再生： 選択中のフォルダ内のすべてのプロジェクトを再生します。
- 1 曲再生： 選択した 1 プロジェクトのみを再生します。
- 1 曲リピート再生： 選択した 1 プロジェクトのみを繰り返し再生します。
- 全曲リピート再生： 選択中のフォルダ内のすべてのプロジェクトを繰り返し再生します。

再生ピッチを変更する [キー]

再生速度を維持しながら、ピッチを変更できます。トラックごとに設定できます。

1.  を押す

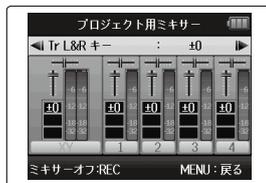
2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



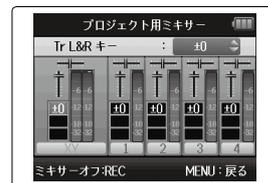
3.  で「プロジェクト用ミキサー」を選択して、 を押す



4.  で変更するトラックのキーを選択して、 を押す



5.  で再生ピッチを選択して、 を押す



NOTE

b 6～# 6 の間で変更できます。

変更したピッチで再生されます。

HINT

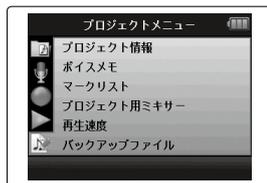
変更したピッチはプロジェクト単位で保存されます。

ミキシングする WAV フォーマットのみのみ

再生時の各トラックのミックスバランスを変更できます。

1. を押す

2. で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3. で「プロジェクト用ミキサー」を選択して、 を押す



4. 各パラメーターの設定値を変更する

■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更： の上下

変更するパラメーターの選択： を押す



パラメーター	設定範囲	説明
音量	ミュート、-48.0 ~ +12 dB (0.5 dB 刻み)	音量を調節します。
パン	L100 ~センター~ R100	左右の音のバランスを調節します。
キー	b 6 ~ # 6	再生ピッチを変更します。再生速度は変わりません。

5. ミキサーをオフにして試聴

したい場合は  を押す

押すたびにオン/オフが切り替わります。



NOTE

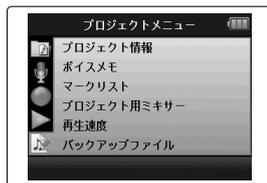
設定したミキシングはプロジェクトごとに保存され、再生時に適用されます。

プロジェクトの情報を確認する

選択したプロジェクトの各種情報を確認できます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「プロジェクト情報」を選択して、 を押す

プロジェクト情報が表示されます。
隠れている部分の情報を見たいときは、 でスクロールしてください。

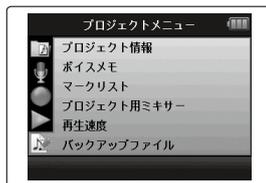


トラックマークを確認する

録音したプロジェクトのマークを一覧表示できます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



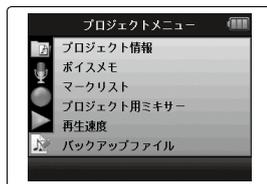
3.  で「マークリスト」を選択して、 を押す

マークリストが表示されます。



付加したマークを示す
録音中に音飛びが発生した場合、
発生時刻にこのマークが示される

プロジェクト名を変更する

1.  を押す2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す3.  で「編集」を選択して、 を押す4.  で「名前の変更」を選択して、 を押す

5. 変更する



■変更時の操作

カーソル移動、文字の変更： の上下変更する文字の選択、変更した文字の確定： を押す6.  を押す

NOTE

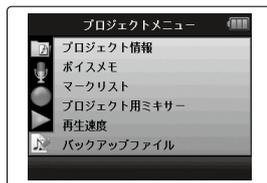
- ・プロジェクト名に使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !#\$% &'()*+,-.0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTU
VWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz |`
- ・スペースだけのプロジェクト名は使用できません。

ミックスダウンする WAV フォーマットのみ

WAV フォーマットで録音したプロジェクトをステレオファイル（WAV または MP3）にミックスダウンします。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「ミックスダウン」を選択して、 を押す



4. ミックスダウンするときのフォーマットを変更したいときは  で「フォーマット選択」を選択して、 を押す



5.  でフォーマットを選択して、 を押す

**NOTE**

WAV ファイルの場合、選択されているプロジェクトと同じサンプリング周波数で、同じビットレートのみが選択できます。

6.  で「実行」を選択して、 を押す



ミックスダウンが始まります。

NOTE

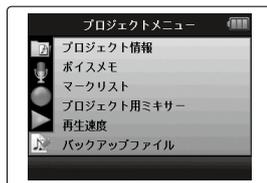
- ・ミックスダウンしたファイルは同一フォルダ内に作成されません。
- ・SD カードの容量が足りない場合、手順 6 に戻ります。
- ・ミックスダウンで作成されたファイルは、「ZOOM0001_ST001」のようになり、同じプロジェクトでミックスダウンするごとに 3 桁の数字が 1 つずつ増えていきます。
- ・ミックスダウンには、プロジェクト用ミキサー (→ P.42) で設定した音量、パン、キーや再生速度 (→ P.37) の設定が反映されます。

ノーマライズする WAV フォーマットのみ

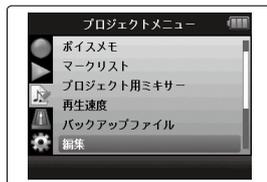
WAV フォーマットで録音されたプロジェクトの音量が小さかった場合に、ファイル全体のレベルを大きくすることができます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「編集」を選択して、 を押す



4.  で「ノーマライズ」を選択して、 を押す



5.  でノーマライズを実行するトラックを選択する



NOTE

- ・録音ファイルのないトラックは選択できません。
- ・「全て」を選択すると、選択可能なトラックすべてにノーマライズを実行します。

6.    で「はい」を選択して、
   を押す



ノーマライズが始まります。

**NOTE**

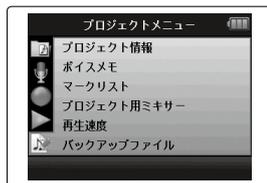
ノーマライズはファイル内の最大レベルが0 dBになるように、全体のレベルを大きくします。

プロジェクトを分割する

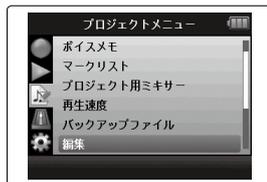
プロジェクトを任意の位置で2つに分割できます。

1. を押す

2. で「プロジェクトメニュー」を選択して、を押す



3. で「編集」を選択して、を押す



4. で「分割」を選択して、を押す



5. 分割位置を決める

■分割時の操作

ポイント移動:  

再生/一時停止: を押す

分割位置の確定: を押す



6.    で「はい」を選択して、
   を押す

**NOTE**

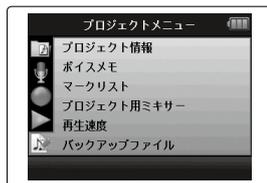
- ・分割後のプロジェクト名は、分割位置より前のプロジェクトに A、後のプロジェクトに B の文字が、プロジェクト名の末尾に付加された名称になります。
- ・追加録音で複数のテイクがある場合、選択されているテイクが分割されます。選択されていないテイクは分割位置より前のプロジェクトに保存されます。

プロジェクトの前後を削除する

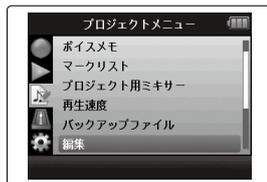
録音の前後の不要な部分を削除（トリミング）することができます。残す部分の開始と終了の時間を指定します。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「編集」を選択して、 を押す



4.  で「トリミング」を選択して、 を押す



5.  で始点のアイコンを選択する



6.   で始点の位置を探す



HINT

 を押して再生しながら探すこともできます。

7.  で終点のアイコンを選択して、同様に終点も設定する



8.  を押す

9.  で「はい」を選択して、
 を押す



トリミングが始まります。

NOTE

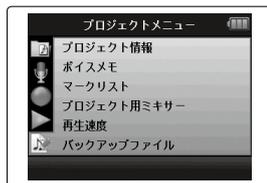
追加録音で複数のテイクがある場合、選択されているテイクがトリミングされます。

プロジェクトを削除する

不要なプロジェクトを削除できます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「ゴミ箱」を選択して、 を押す



4.  で「削除」を選択して、 を押す



5.  で「はい」を選択して、 を押す

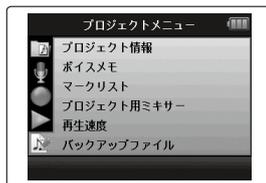


プロジェクトをすべて削除する

フォルダ内のすべてのプロジェクトをまとめて削除できます。

1.  を押す

2.   で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



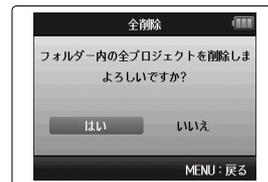
3.   で「ゴミ箱」を選択して、 を押す



4.   で「全削除」を選択して、 を押す



5.   で「はい」を選択して、 を押す

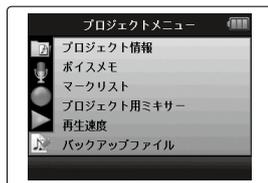


プロジェクトを再構築する

プロジェクトに必要なファイルがなかったり、壊れている場合は、再構築することができます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「再構築」を選択して、 を押す



4.  で「はい」を選択して、 を押す



プロジェクトが再構築されます。

HINT

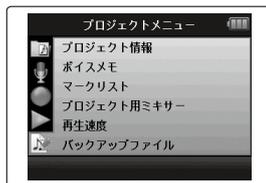
録音中に誤ってアダプターが抜けてしまったり、パソコンでプロジェクトに必要な設定ファイルを削除してしまうと、プロジェクトが再生できなくなります。そのようなときは再構築を実行すると、プロジェクトを修復できる場合があります。

ボイスメモをつける

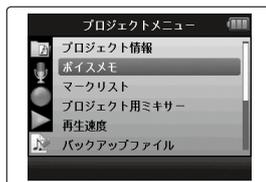
プロジェクトに音声によるメモをつけることができます。

1. を押す

2. で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3. で「ボイスメモ」を選択して、 を押す



4. 録音する

録音の開始:  を押す

録音の終了:  を押す



5. 再生する

再生の開始:  を押す

再生の終了:  を押す



HINT

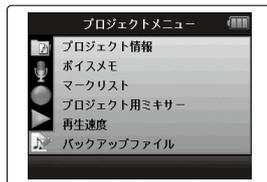
- ・ボイスメモは  を押すたびに上書きされます。
- ・ボイスメモの録音は、L/R 入力に接続されているステレオマイクから行います。インプット 1～4 の入力からは録音できません。
- ・ボイスメモのファイル名は「ZOOM0001_VM」のようになります。録音のフォーマットは 128 kbps の MP3 になります。

バックアップファイルを再生する WAV フォーマットのみ

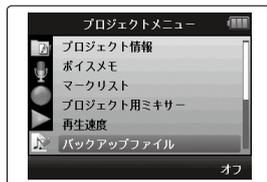
バックアップ録音した場合は、通常のコピーに代わってバックアップファイルを再生することもできます。

1.  を押す

2.  で「プロジェクトメニュー」を選択して、 を押す



3.  で「バックアップファイル」を選択して、 を押す



4.  で「オン」を選択して、 を押す

 を押すと、トラックLRの通常のコピーに代わってバックアップファイルが再生されるようになります。



パソコンとデータをやり取りする [カードリーダー]

パソコンと接続して、SD カード内のデータの確認やコピーができます。

1. を押す

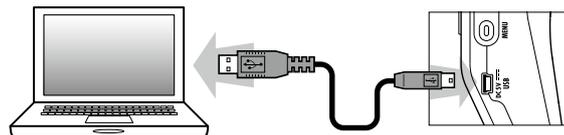
2. で「USB」を選択して、 を押す



3. で「カードリーダー」を選択して、 を押す



4. H6 とパソコンを USB ケーブルで接続する



NOTE

・ USB バスパワーを使用したい場合は、**H6** の電源が OFF の状態でケーブルを接続し、電源を ON にしてください。

5. 取り外したいときは、パソコン側で接続を解除する

Windows の場合：

“ハードウェアの安全な取り外し” で **H6** を選択する

Macintosh の場合：

H6 のアイコンをゴミ箱にドラッグ & ドロップする

NOTE

・ USB ケーブルを抜く前に、必ず解除操作を行ってください。

6. パソコンと **H6** からケーブルを抜き、 を押す

オーディオインターフェースとして使用する

H6 の入力信号をパソコンや iPad に直接入力したり、パソコンや iPad の再生信号を **H6** から出力することができます。

1. 「パソコンとデータをやり取りする [カードリーダー]」

の手順 1 ~ 2 を行う

2. ↑↓⇄ で「オーディオインターフェース」を選択して、→⇄を押す



3. ↑↓⇄ で「ステレオミックス」または「マルチトラック」を選択して、→⇄を押す



NOTE

- ・「ステレオミックス」では 2 イン / 2 アウト、「マルチトラック」では 6 イン / 2 アウトになります。
- ・iPad の場合は「ステレオミックス」を選択します。「マルチトラック」では使用できません。
- ・「ステレオミックス」の場合は、専用ミキサーですべてのトラックの入力をステレオにミキシングすることができます。(→ P.68)
- ・Windows の場合「マルチトラック」で使用するには、ドライバが必要です。ドライバは ZOOM の WEB サイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。

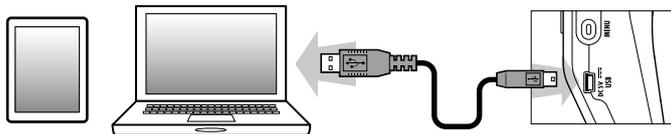
4. ↑↓⇄ で「PC/Mac」または「iPad (電池使用)」を選択して、→⇄を押す



HINT

USB バスパワー供給能力の低いパソコンで使用する場合やファンタム電源を使用したい場合は「PC/Mac (電池使用)」を選択します。

5. H6 とパソコン、iPad を USB ケーブルで接続する



NOTE
iPad を接続する場合は、Lightning - USB カメラアダプタ / Lightning - USB 3 カメラアダプタが必要です。

HINT
オーディオインターフェースの設定について (→ P.66)

6. 取り外したいときは を押す



7. で「終了」を選択して、 を押す



8. で「はい」を選択して、 を押す



9. パソコン、iPad と H6 からケーブルを抜き、 を押す

オーディオインターフェースの設定

H6 をオーディオインターフェースとして使用する場合は、次のような設定をすることができます。操作については各ページを参照してください。

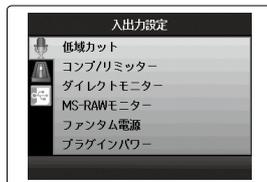
入出力設定	低域カット (→ P.74)
	コンプ/リミッター (→ P.75)
	ダイレクトモニター (→ P.66)
	MS-RAW モニター (→ P.78)
	ファンタム電源 (→ P.87)
	プラグインパワー (→ P.88)
	ループバック (→ P.67)
	ミキサー (→ P.68)
	VU メーター (→ P.89)
ツール	チューナー (→ P.70)

ダイレクトモニターを設定する

H6 に入力された音声をパソコンや iPad を経由せずに **H6** から直接出力することができます。これにより遅延のないモニタリングが可能です。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「ダイレクトモニター」を選択して、 を押す



4.  で「オン」を選択して、 を押す

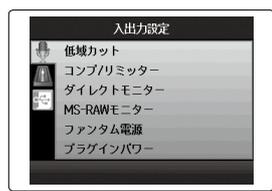


ループバックを設定する（ステレオミックスの場合）

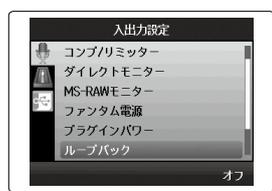
ステレオミックスの場合は、パソコン、iPad の再生音と **H6** への入力をミックスして、もう一度パソコン、iPad に送る（ループバック）ことができます。パソコンなどで再生した音楽にナレーションをつけて新たにパソコンのソフトウェアで録音したり、ストリーム配信することができます。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「ループバック」を選択して、 を押す



4.  で「オン」を選択して、 を押す



NEXT >>>

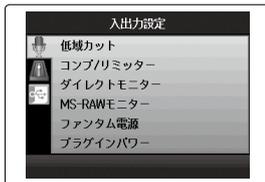
オーディオインターフェースの設定のつづき

入力をミキシングする

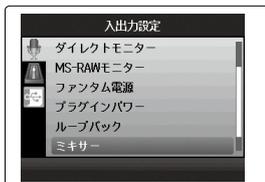
各入力のカミックスバランスを変更できます。ここで設定したバランスでパソコンや iPad に入力信号が送られます。ステレオカミックスの場合はステレオにミキシングされた状態で送られます。

1. を押す

2. で「入出力設定」を選択して、 を押す



3. で「ミキサー」を選択して、 を押す



4. 各パラメーターの設定値を変更する



■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更： の上下

変更するパラメーターの選択： を押す

5. ミキサーを OFF にして試聴

したい場合は  を押す

押すたびに ON/OFF が切り替わります。



HINT

ミキサーの設定はステレオカミックス、マルチトラックと共通の設定として保存されます。

チューニングする

入力信号のチューニングが行えます。

1.  を押す

2.  で「ツール」を選択し
て、 を押す



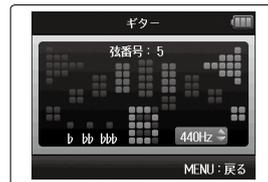
3.  で「チューナー」を選
択して、 を押す



4.  でチューナータイプを
選択して、 を押す



5. 基準ピッチを変更するには
 でピッチを選択する



HINT

435 Hz ~ 445 Hz の範囲で設定で
きます。



6. クロマチック以外のチューナータイプでフラットチューニングするには ◀▶ で選択する

HINT

半音、1音、1音半下げでチューニングできます。



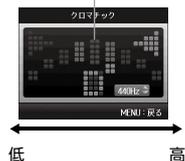
7. トラックキーを押し、入力するインプットを選択する

8. チューニングする

選べるチューナータイプは以下になります。

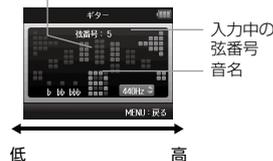
■**クロマチックチューナーを使う**
入力信号のピッチを自動検出して最寄りの音名とピッチのスレを表示します。

ピッチが正確なときは、中心を指します。



■**ギター/ベース専用チューナーを使う**
チューニングしたい弦番号を自動検出し、1本ずつチューニングを行います。

ピッチが正確なときは、中心を指します。



チューナータイプ	弦番号／音名						
	1	2	3	4	5	6	7
ギター	E	B	G	D	A	E	B
ベース	G	D	A	E	B		
オープンA	E	C#	A	E	A	E	
オープンD	D	A	F#	D	A	D	
オープンE	E	B	G#	E	B	E	
オープンG	D	B	G	D	G	D	
DADGAD	D	A	G	D	A	D	

メトロノームを使用する

録音前のカウントダウンや録音中のガイドリズムとして使用できます。

1. を押す

2. で「ツール」を選択し
て、を押す



3. で「メトロノーム」を
選択して、を押す



4. で各メニューを選択し
て、を押す



■ 「クリック」を選択

で音が鳴る条件を選択
して、を押す



■ 「プリカウント」を選択 (→ P.28)

■ 「テンポ」を選択

でメトロノームのス
ピードを選択して、を
押す



■ 「サウンド」 を選択

↑ ↓ でメトロノームの音色
 を選択して、→ を押す



■ 「音量」 を選択

↑ ↓ でメトロノームの音量
 を選択して、⓪ を押す



■ 「パターン」 を選択

↑ ↓ でメトロノームのパ
 ターンを選択して、→ を
 押す



ノイズを軽減する [低域カット]

風雑音やボーカルのポップノイズなどをカットすることができます。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「低域カット」を選択して、 を押す



4.  でカットするトラックを選択して、 を押す



5.  でカットする周波数を選択して、 を押す



入力レベルを調節する [コンプ/リミッター]

低いレベルの入力信号は持ち上げ、高いレベルの信号は抑えてレベル調節できます。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「コンプ/リミッター」を選択して、 を押す



4.  で調節するトラックを選択して、 を押す



5.  でコンプ/リミッターの種類を選択して、 を押す



設定項目	説明	
オフ	コンプレッサー、リミッターが OFF	
コンプ (標準)	標準的なコンプレッサー	コンプレッサーは、高いレベルの音を圧縮し、低いレベルの底上げを行います。
コンプ (ボーカル)	ボーカル向けのコンプレッサー	
コンプ (ドラム)	ドラム、パーカッション向けのコンプレッサー	
リミッター (標準)	標準的なリミッター	リミッターは、入力信号が一定のレベルを越えた時に圧縮します。
リミッター (コンサート)	ライブ向けのリミッター	
リミッター (スタジオ)	スタジオ録音向けのリミッター	

入力信号のモニターバランスを調節する

入力信号をモニターするときの各トラックの音量やパンを調節できます。

1. を押す

2. で「入出力設定」を選択して、 を押す



3. で「モニター用ミキサー」を選択して、 を押す

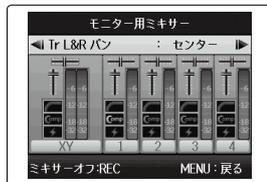


4. 各パラメーターの設定値を変更する

■変更時の操作

カーソル移動、設定値の変更： の上下

変更するパラメーターの選択： を押す



パラメーター	設定範囲	説明
音量	ミュート、-48.0 ~ +12 dB (0.5 dB 刻み)	音量を調節します。
パン	L100 ~ センター ~ R100	左右の音のバランスを調節します。

NOTE

ここで調節した音量やパンはモニター信号に有効になるため、録音データには反映されません。

5. ミキサーを OFF にして試聴

したい場合は  を押す

押すたびに ON/OFF が切り替わります。



NOTE

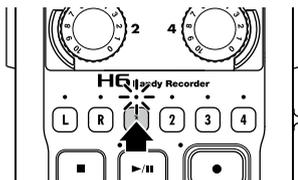
設定したミキシングは録音後プロジェクトごとに保存され、再生時に変更することもできます。(→ P.42)

特定のトラックの入力音だけをモニターする [SOLO モード]

特定のトラックの入力音だけをモニターできます。(SOLO モード)

1. モニターしたいトラックのトラックキーを長押しする

選択されたトラックキーのインジケータがオレンジ色に点灯します。



選択されたトラックの入力音が [PHONE] 端子および [LINE OUT] 端子から出力されます。

NOTE

- ・ SOLO モードを使用できるのは、入力音のある（インジケータが赤く点灯している）トラックだけです。
- ・ L/R トラック（マイクからの入力）をモニターする場合は、L/R いずれかのトラックキーを長押ししてください。
- ・ SOLO モードでモニター中も、画面上でトラック名が赤く表示されているトラックの入力は録音されています。

HINT

- ・ モニター中に他のトラックキーを長押しすると、モニターするトラックを追加することができます。
- ・ SOLO モードでモニター中も、自動録音機能はすべてのトラックの入力レベルに応じて動作します。

2. モニターを解除するには、モニター中のトラックキーを押す

入力されているすべてのトラックのインジケータが赤く点灯し、他のトラックの入力音も出力されます。

HINT

SOLO モードは、を押していったん設定画面に入ってからホーム画面に戻ったときも解除されます。

MS-RAW 信号をモニターする MS-RAW モードのみ

MS-RAW モードで録音中、Mid マイクの入力を Lch、Side マイクの入力を Rch からそのままモニターできます。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「MS-RAW モニター」を選択して、 を押す



4.  で「RAW」を選択して、 を押す

**NOTE**

通常のステレオでモニターしたいときは、「ステレオ」を選択してください。

入力信号をMS方式からステレオにエンコードする

インプット 1/2 または インプット 3/4 に入力した MS 方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ信号に変換します。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「MSマトリックス」を選択して、 を押す



4.  でエンコードするトラックを選択して、 を押す



5.  で各メニューを選択して、 を押す



■ 「オン/オフ」を選択

 で「オン」を選択して、 を押す



NOTE

ON に設定すると、選択されたトラックがステレオトラックとして再構築されます。

NEXT >>>

入力信号を MS 方式からステレオにエンコードするのつづき

■ 「ミッドレベル」を選択

↑↓↑↓ でセンターの音を拾う単一指向性マイク (Mid) のレベルを設定して、 を押す



HINT

ミッドレベルはミュート、-48.0 ~ +12.0 dB の範囲で設定できます。

■ 「サイドレベル」を選択

↑↓↑↓ で左右の音を拾う双指向性マイク (Side) のレベルを設定して、 を押す



HINT

サイドレベルはミュート、-48.0 ~ +12.0 dB の範囲で設定できます。

■ 「トラック設定」を選択

↑↓↑↓ で MID 入力と SIDE 入力をインプット 1/2、もしくは 3/4 のどちらに割り当てるかを選択して、→↑↓ を押す



録音フォーマットを選択する

音質やファイルサイズを考慮しながら、フォーマットを選択できます。

1. を押す2. で「録音設定」を選択して、を押す3. で「録音フォーマット」を選択して、を押す4. でフォーマットを選択して、を押す

NOTE

- 音質重視の高音質な録音には WAV フォーマットが適しています。
- MP3 フォーマットは圧縮の際、音質が低下しますが、ファイルサイズも小さくなる為、SD カードの容量を節約して大量に保存したいときなどに便利です。
- MP3 の場合は、選択されているトラック数に関係なく、ステレオの MP3 ファイルがひとつだけ作成されます。この場合、モニター用ミキサーで、ステレオにミキシングする際の各トラックのバランスを調節することができます。(→ P.76)

	音質 高	ファイルサイズ 大
WAV96 kHz/24-bit	↑	↓
WAV96 kHz/16-bit		
WAV48 kHz/24-bit		
WAV44.1 kHz/24-bit		
WAV48 kHz/16-bit		
WAV44.1 kHz/16-bit		
MP3 320 kbps		
MP3 256 kbps		
MP3 224 kbps		
MP3 192 kbps		
MP3 160 kbps		
MP3 128 kbps		
MP3 112 kbps		
MP3 96 kbps		
MP3 80 kbps		
MP3 64 kbps		
MP3 56 kbps		
MP3 48 kbps		
	低	小

自動録音設定を変更する

自動録音を開始する条件（入力レベル）や、自動停止の設定を行えます。

1.  を押す

2.  で「録音設定」を選択して、 を押す



3.  で「オート録音」を選択して、 を押す



4. 録音開始条件を設定するには  で「スタート&ストップレベル」を選択して、 を押す



5.  で「スタートレベル」を選択して、 を押す



6.  でスタートレベルを設定して、 を押す
入力レベルが設定したレベルを上回ったときに、自動的に録音を開始します。



自動停止を設定する

1. 自動停止を設定するには、

↑↓で「自動停止」を選択
して、→を押す



2. ↑↓で自動停止する時間を

選択して、→を押す



3. スタートレベルと同様にストップレベルを設定する

入力レベルが設定したレベルを下回り、手順 2 で設定した時間が経過したときに自動的に録音を終了します。

録音開始時や終了時にトーン信号を鳴らす [サウンドマーカー]

録音開始時や終了時に、出力端子からトーン信号（サウンドマーカー）を鳴らすことができます。

動画の音声を **H6** で録音する場合、カメラ側の音声にトーン信号を入力しておくことで、動画との位置合わせが簡単になります。

1.  を押す2.  で「録音設定」を選択して、 を押す3.  で「サウンドマーカー」を選択して、 を押す4.  で各メニューを選択して、 を押す

■ 「モード」を選択

 でサウンドマーカーを鳴らす条件を選択して、
 を押す



NOTE

・追加録音機能やボイスメモ機能を使用しているときは、サウンドマーカーは鳴りません。

■ 「サウンド」を選択

 でサウンドマーカーの種類を選択して、 を押す



■ 「音量」を選択

 でサウンドマーカーの音量を設定して、 を押す

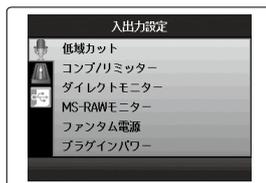


ライン出力レベルを下げる

[LINE OUT] 端子の出力レベルを下げます。[LINE OUT] 端子の出力信号を、デジタル一眼レフカメラの外部マイク入力端子など、入力ゲインの高い端子に接続するときに使用します。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「ライン出力レベル」を選択して、 を押す



4.  で [LINE OUT] 端子の出力レベルを設定して、 を押す



NOTE

この設定は [PHONE] 端子から出力されるレベルには影響しません。

プロジェクト名のつけ方を選択する

自動でつけられるプロジェクト名の設定を変更できます。

1. を押す

2. で「録音設定」を選択して、 を押す



3. で「プロジェクト名」を選択して、 を押す



4. でつけ方を選択して、 を押す



NOTE

- プロジェクト名は以下の規則でつけられます。
標準：Z00M0001～Z00M9999
日付：YYMMDD-HHMMSS 例) 130331-123016
- 「日付」では録音開始日時がつけられます。

ファンタム電源の設定を変更する

インポート 1 ~ 4 はファンタム電源に対応しています。+12 V、+24 V、+48 V の電源を供給できます。

1.  を押す

2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「ファンタム電源」を選択して、 を押す



4.  で各メニューを選択して、 を押す



■ 「オン/オフ」を選択

 で設定するインポートを選択して、 を押す

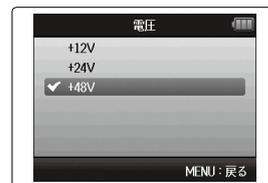


 で「オン」を選択して、 を押す



■ 「電圧」を選択

 で設定する電圧を選択して、 を押す

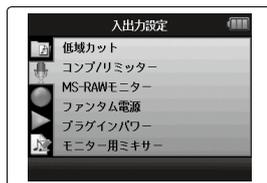


プラグインパワーの設定を変更する

プラグインパワーに対応しているマイクの場合は、XYマイクに搭載されている[MIC/LINE]入力端子に接続する前に次の設定を行います。

1. を押す

2. で「入出力設定」を選択して、を押す



3. で「プラグインパワー」を選択して、を押す



4. で「オン」を選択して、を押す



VU メーターで入力レベルを確認する

VU メーターを表示して入力レベルを確認することもできます。

1.  を押す

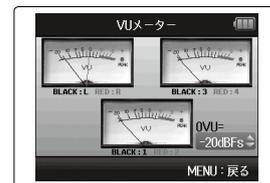
2.  で「入出力設定」を選択して、 を押す



3.  で「VU メーター」を選択して、 を押す



4.  を回して入力レベルを調節して、レベルを確認する



5. OVU を示すリファレンスレベルを変更するには  でレベルを選択する

HINT

-20 dBFS ~ -10 dBFS の範囲で設定できます。dBFS はデジタルデータとして記録できる最大値を 0 dBFS として、信号の大きさを dB で表した単位です。

ディスプレイのバックライト設定を変更する

省電力のため、30 秒間何も操作をしないとディスプレイのバックライトが消灯もしくは暗くなるように設定できます。

1.  を押す

2.  で「システム設定」を選択して、 を押す



3.  で「バックライト」を選択して、 を押す



4.  で「省電力」を選択して、 を押す



5.  で設定を選択して、 を押す



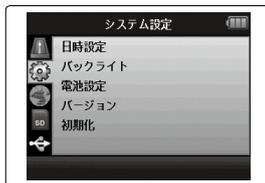
NOTE

AC アダプターで使用している場合は、この機能は動作しません。

ディスプレイの明るさを調節する

1.  を押す

2.  で「システム設定」を選択して、 を押す



3.  で「バックライト」を選択して、 を押す



4.  で「明るさ」を選択して、 を押す



5.  で明るさを選択して、 を押す

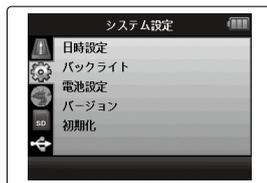


ファームウェアバージョンを確認する

H6 ファームウェアのバージョンを表示します。

1. を押す

2. で「システム設定」を選択して、を押す



3. で「バージョン」を選択して、を押す

ファームウェアのバージョンが表示されます。



設定を初期値に戻す

工場出荷時の設定に戻すことができます。

1.  を押す

2.  で「システム設定」を選択して、 を押す



3.  で「初期化」を選択して、 を押す



4.  で「はい」を選択して、 を押す

初期化が実行され、電源が自動的に OFF されます。



NOTE

入力レベルの設定はリセットされません。

SDカードの空き容量を確認する

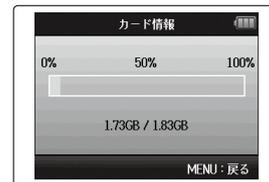
1. を押す

2. で「SDカード」を選
択して、を押す



3. で「カード情報」を選
択して、を押す

空き容量が表示されます。



SDカードを初期化する

SDカードを **H6** 用に初期化します。

1.  を押す

2.  で「SDカード」を選
択して、 を押す



3.  で「フォーマット」を
選択して、 を押す



4.  で「はい」を選択して、
 を押す



NOTE

- ・市販のSDカードや、他のパソコンで初期化されたSDカードを使用する場合は、最初に **H6** で初期化する必要があります。
- ・SDカードを初期化すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

SDカードの性能をテストする

SDカードが **H6** で使用可能かテストします。

1. を押す

2. で「SDカード」を選択して、 を押す

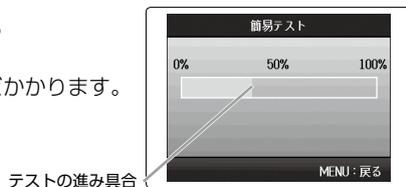


3. で「カード性能テスト」を選択して、 を押す



4. 簡易テストが開始する

テストには 30 秒ほどかかります。



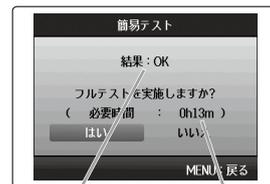
NOTE

中止するには  を押してください。

5. 簡易テストが終了する

判定結果が表示され、フルテストを実行するかを選択画面とフルテストに必要な時間が表示されます。

6. フルテストを実行するには、 で「はい」を選択して、 を押す

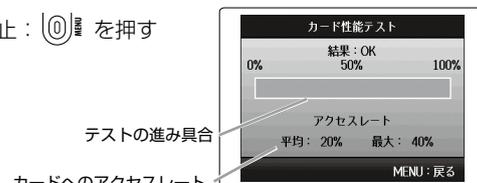


7. フルテストが開始する

カードに書き込み可能な全てのエリアをテストします。

テストの中断/再開:  を押す

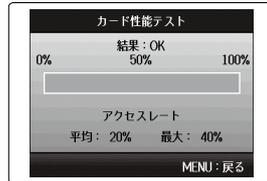
テストの中止:  を押す



カードへのアクセスレート
AVE: 平均
MAX: 最大値

8. テストが終了する

判定結果が表示されます。
アクセスレート MAX が 100%
になると NG となります。



NOTE

性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きない事を保証するものではありません。あくまで目安として考えてください。

ファームウェアのアップデート

H6 のファームウェアを、最新のものにアップデートできます。

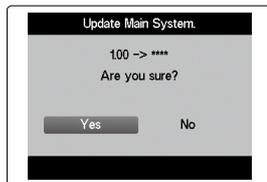
1. アップデート用ファイルを SD カードのルートディレクトリにコピーする

NOTE

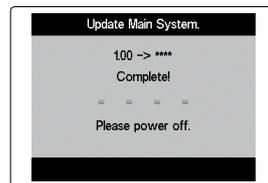
最新のアップデート用ファイルは ZOOM の Web サイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。

2. SD カードを **H6** にセットして  を押しながら、電源を ON にする

3.   で「はい」を選択して、
  を押す



4. アップデートが完了したら、電源を OFF にする



NOTE

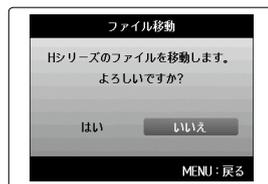
- 電池残量が少ないと、アップデートできません。その場合は新しい電池に入れ替えるか、AC アダプターを使用してください。
- 万が一ファームウェアのアップデートに失敗した場合は、最初から再度ファームウェアのアップデートを実行してください。

古いHシリーズのSDカードを利用する

古いHシリーズで使用していたSDカードを読み込んで、その中のファイルを **H6** 用に移動することができます。

1. SDカードをセットして電源をONにする

2.   で「はい」を選択して、
  を押す



NOTE

- 移動先に同じファイル名のファイルがある場合は、名称変更を行わないと移動できません。
- **H1**、**H2**、**H2n**、**H4**、**H4n**、**H4n Pro**に対応しています。

リモコンを使用する

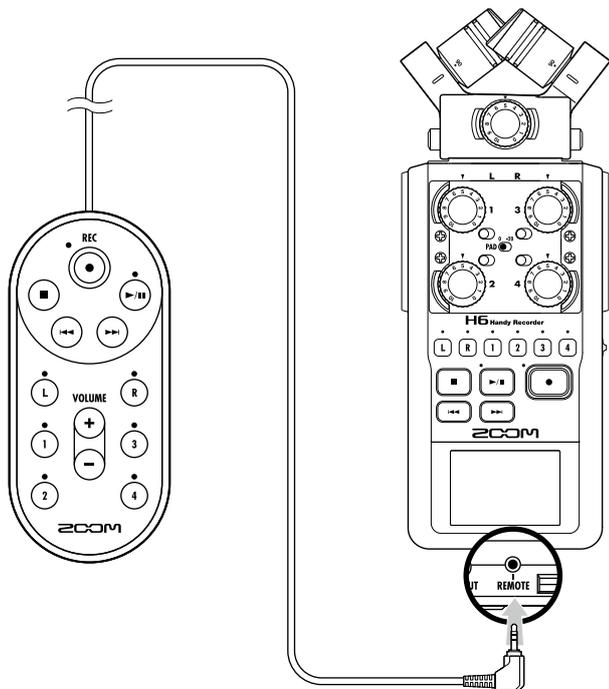
リモコンを使うと、離れたところから **H6** を操作できます。

1. **H6** のリモコン端子にリモコンを接続する

リモコンの各キーは、**H6** 本体の各キーに対応しています。

HINT

H6 のホールド機能有効時でも、リモコンでの操作は可能です。



故障かな？と思われる前に

H6の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

録音／再生のトラブル

◆音が出ない、もしくは非常に小さい

- ・モニターシステムの接続、およびモニターシステムの音量を確認してください。
- ・**H6**の音量が下がっていないか確認してください。

◆録音した音が聞こえない、もしくは非常に小さい

- ・XYマイクなどのマイクカプセルを使用している場合は、マイクを向ける方向が適切かどうか確認してください。
- ・入力レベルの設定を確認してください（→P.20）。
- ・入力端子にCDプレーヤーなどを接続しているときは、接続した機器の出力レベルを上げてみてください。

◆録音できない

- ・SDカードに空き容量があることを確認してください（→P.94）。
- ・ディスプレイに“ホールド中です”と表示されるときは、キーホールド機能が有効になっています。キーホールド機能を無効にしてください（→P.16）。

その他のトラブル

◆USB端子をパソコンに接続しても認識されない

- ・対応OSが適切かどうかを確認してください。
- ・**H6**をパソコンに認識させるためには、**H6**側で動作モードを選択する必要があります（→P.62）。

仕 様

記録メディア		SD/SDHC/SDXC 規格対応カード	
入力	L/R 入力	[XY マイク : XYH-6]	
		マイク	単一指向性マイク
		感度	-41 dB/1 Pa 1 kHz
		入力ゲイン	-∞~ 46.5 dB
		最大入力音圧	136 dB SPL
		MIC/LINE IN ステレオミニジャック	入力ゲイン : -∞~ 46.5 dB 入カインピーダンス : 2 kΩ プラグインパワー 2.5 V 対応
	INPUT1 ~ 4	バックアップ入力	入力ゲインから -12 dB
		仕様	XLR/TRS コンボジャック (XLR : 2 番ホット TRS : TIP ホット)
		入力ゲイン (PAD OFF)	-∞~ 55.5 dB
		入力ゲイン (PAD ON)	-∞~ 35.5 dB
		入カインピーダンス	1.8 kΩ 以上
		最大許容入力レベル	+22 dBu (PAD ON)
		ファンタム電源	+12/+24/+48 V INPUT1 ~ 4 個別に ON/OFF
入力換算雑音	-120 dBu 以下		
出力	出力端子	LINE OUT ステレオミニジャック (定格出力レベル -10 dBu · 10 kΩ 負荷時) PHONE OUT ステレオミニジャック (20 mW+20 mW · 32 Ω 負荷時)	
	内蔵スピーカー	400 mW 8 Ω モノラルスピーカー < WAV 選択時 >	
記録フォーマット	対応フォーマット :	44.1/48/96 kHz 16/24-bit モノ / ステレオ BWF フォーマット対応	
	最大同時録音トラック	8 トラック (6 トラック + バックアップ録音時)	
	< MP3 選択時 >		
	対応フォーマット :	48 ~ 320 kbps	
	最大同時録音トラック	2 トラック	
録画・録音時間	< 2GB カードの場合 >		
		3 時間 8 分 (WAV 44.1 kHz/16-bit)	
		34 時間 43 分 (MP3 128 kbps)	
表示		2.0" フルカラーLCD (320 x 240)	

USB	<マストレージクラス動作>	
	クラス：	USB2.0 High Speed
	<オーディオインターフェース動作：マルチトラックモード（※ Windows にはドライバ必要。Macintosh は不要で利用可能）>	
	クラス：	USB2.0 High Speed
	仕様：	サンプリングレート 44.1/48 kHz/96 kHz ビットレート 16/24-bit 6in2out
	<オーディオインターフェース動作：ステレオモード>	
クラス：	USB2.0 Full Speed	
仕様：	サンプリングレート 44.1/48 kHz ビットレート 16-bit 2in2out	
※ iPad 用オーディオインターフェース動作サポート（ステレオモードのみ）		
※ USB バスパワー動作可能		
連続録音中の電池持続時間の目安	録音モード	アルカリ乾電池
	XY マイク使用、44.1 kHz/16-bit(ステレオ x1) XY マイク使用、インプット 1、2、3、4 使用 96 kHz/24-bit (ステレオ x 3)	約 21 時間 00 分 約 9 時間 45 分
※上記の値はあくまで目安です。 ※電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変わります。		
電源	単三電池 4 本動作	
	AC アダプター：DC5 V 1A AD-17 使用	
	USB バスパワー	
外形寸法	本体：77.8 mm(W) x 152.8 mm(D) x 47.8 mm(H) 280 g	
	XYH-6：78.9 mm(W) x 60.2 mm(D) x 45.2 mm(H) 130 g	

※充電専用の USB ケーブルを使用した場合、SD カードリーダー／オーディオインターフェース機能は使用できません。

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

www.zoom.co.jp